

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Preconception dysmenorrhea as a risk factor for psychological distress in pregnancy: The Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 妊娠前の月経困難症が妊娠中の精神的ジストレスに与える影響

ユニットセンター(UC)等名: 宮城UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Journal of Affective Disorders

年: 2019 月: 2 巻: 245 頁: 475-483

筆頭著者名: 渡邊 善

所属UC名: 宮城UC

目的:

妊娠前の月経困難症と妊娠中の精神的ジストレスの発症との関連性について調査した。

方法:

精神状態パラメータK6スコア13点以上を精神的ジストレスとした。MT1で精神的ジストレスを有していない妊婦87,102人を解析対象とし、登録時に情報収集した妊娠前の月経困難症の程度により3グループ(無症状、軽度、重度)に群分けした。MT2での精神的ジストレスと妊娠前の月経困難症との関連性についてマルチレベル分析にて解析した。

結果:

妊娠前に月経困難症を有していた妊婦は、妊娠中の精神的ジストレスを有する確率が高かった(無症状2.1%、軽度2.6%、重度3.6%)。妊娠前に月経困難症を有していなかった妊婦と比較して、月経困難症を有していた妊婦は妊娠中に精神的ジストレスを発症するリスクは高く、月経困難症の重症度によってリスクは増大した(軽度 aOR=1.154, 95%CI 0.980-1.359; 重度aOR 1.457, 95%CI 1.087-1.951)。

考察:(研究の限界を含める)

妊娠前の月経困難症と妊娠中の精神的ジストレスとの関連性を報告した初めての研究である。一方エコチル調査独自の月経困難症の診断基準を使用し、一般的に利用される月経困難症の重症度スケールと相応しないこと、かつ妊娠中に医師やコメディカルの主観により判断されていることから、その分類に各施設によりばらつきがある可能性と、想起バイアスの可能性がある。

結論:

妊娠前の月経困難症と妊娠中の精神的ジストレス発症は関連、特に妊娠前に重度月経困難症の既往のある妊婦では、その発症リスクはより高い傾向にある。月経が一時的に止まる妊婦においても、周産期メンタルヘルスを考える上では、妊娠前の月経困難症の既往歴は重要視されるべきである。